



野村ワールドボンド・ファンド

おかげさまで設定から3周年

当ファンドの設定来のパフォーマンス

「野村ワールドボンド・ファンド」（以下、当ファンド）は、2018年8月17日に設定され、おかげさまで設定から3周年を迎えました。当ファンドをご愛顧頂いておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス（以下、コロナ）の世界的な感染拡大を背景に、一般的に安全資産と言われる米国債や金までもが投げ売られる局面があったこと（2020年3月）、コロナに対するワクチンの開発が発表され経済の再開に伴う将来のインフレが懸念されたことから、米国を中心に金利が急速に上昇する局面があったこと（特に2021年1月～3月）など、設定来の投資環境は債券運用にとって向かい風の局面もありましたが、2021年10月5日の基準価額（分配金再投資）は10,175円となり、設定来でプラスのリターンとなりました。

次のページ以降では、当ファンドの設定意図について改めてご説明すると共に、これまでの運用経過についてももう少し掘り下げてご説明したいと思います。

基準価額（分配金再投資）の推移

期間：2018年8月17日（設定日）～2021年10月5日、日次



基準価額（分配金再投資）については5ページをご参照ください。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当ファンドの設定意図と収益の源泉について

当ファンドの設定意図

1990年代後半以降、日本の金利は低水準で推移し、現在の低金利下において、預貯金だけの資産形成は非常に難しくなっています。当ファンドはこうした中、『大きなリスクを取らずに資産形成をしたい』、『保守的な資産運用をしたい』といった投資家のニーズに応えることを目指して設定されたファンドになります。そのため、信用力の高い先進国の国債等を主要な投資対象とし、為替変動による値動きの影響を抑えるために、為替ヘッジ比率を高位（実質外貨比率を低位）とすることを基本としています。実際に8月末時点の平均格付はAA、実質的な外貨比率は4.1%に留まっています。

当ファンドの収益の源泉について

ファンドの運用に当たっては、①為替ヘッジ後利回りと金融政策を考慮した国・地域の選定、②金利リスクの調整、③為替ヘッジ比率の調整の3点に着目して、安定的なリターンの獲得を目指します。

2021年8月末時点の当ファンドの平均最終利回り（為替ヘッジ後）は0.3%と、決して高くない水準となっています。当ファンドにとって、債券から得られる利回り収入（インカムゲイン）は確かに重要な収益源の一つですが、それが全てというわけではありません。実際に、設定月末（2018年8月末）から2021年8月末までの3年間の当ファンドのパフォーマンスの要因分解を見ると、インカムゲインの他にも、債券の価格変動等によって獲得できるキャピタルゲイン、並びに為替差益によって獲得できる為替要因も収益の源泉となっていることがご確認頂けます。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

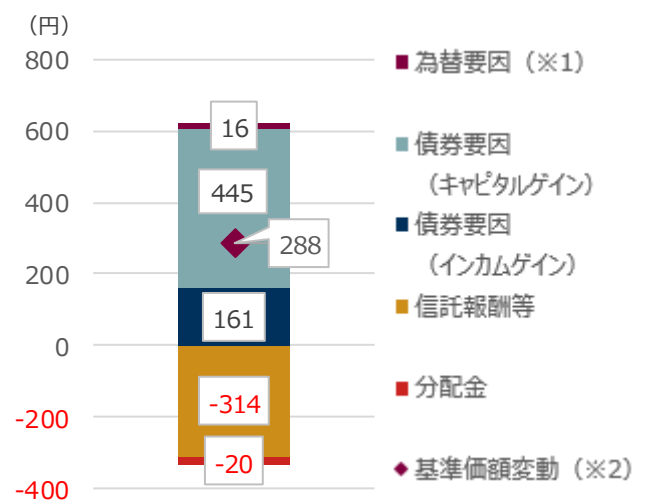
2021年8月末時点の資産内容

ポートフォリオ特性値	
平均格付	AA
平均最終利回り	0.3%
平均最終利回り（為替ヘッジ後）	0.3%
平均デュレーション	4.3年
実質外貨比率（純資産比）	4.1%

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものの現地通貨建。また、格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
 ・平均最終利回り（為替ヘッジ後）は、為替ヘッジプレミアム/コストを反映し、表示しています。
 ・デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
 ・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。
 （出所）野村アセットマネジメント作成

基準価額変動の要因分解（概算）



期間：2018年8月末～2021年8月末
 上記の要因分解は、一定の仮定のもとに最終利回りを用いて委託会社が試算したものであり、基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。要因分解は概算値となりますのでご注意ください。

（※1）「為替要因」は、為替ヘッジ後の実質的な為替エクスポージャーに係る要因を表示しています。

（※2）基準価額変動は、上記期間における基準価額変動額を表示しています。
 （出所）野村アセットマネジメント作成

当ファンドの下値抵抗力

当ファンドの下値抵抗力

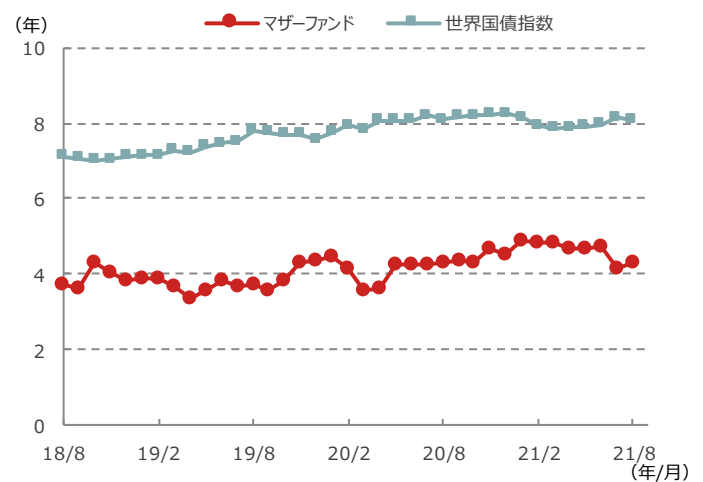
1ページ目で触れました通り、当ファンドの設定来の投資環境は債券運用にとって向かい風の局面もありました。そうした中でも、特に2ページ目で触れた②金利リスクの調整において、金利動向をふまえ、右上図の通り、設定来で当ファンドが投資するマザーファンドのデュレーションを一般的な世界債券の市場指数（世界国債指数）よりも短くすることで、金利上昇による債券価格下落の影響を小さくしました。

金利上昇局面において債券価格下落の影響を小さくすることができたことなどから、右下図の通り、当ファンドの下落率は世界国債指数と比較して相対的に抑えられていたことがご確認頂けます。

今後の金利上昇が意識される中で

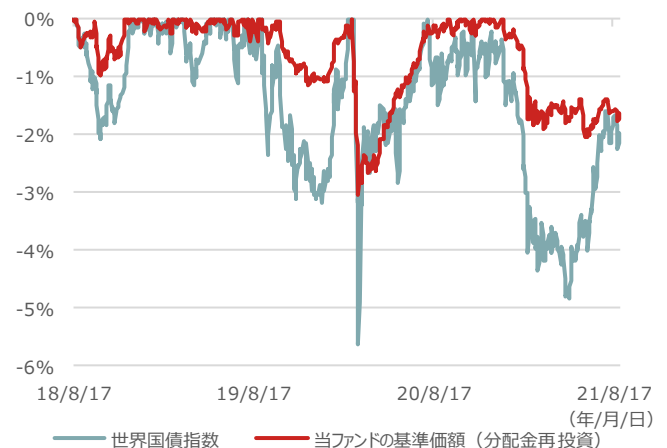
将来の金利動向を見通すことは容易ではありませんが、当ファンドにおいては引き続き複数の収益の源泉を活用することにより、『大きなリスクを取らずに資産形成をしたい』、『保守的な資産運用をしたい』と考える投資家の皆様に寄り添うことができるよう、今後も安定的なリターンの獲得を目指してまいります。

マザーファンドと世界国債指数のデュレーションの推移



当ファンドと世界国債指数のドロウダウン※の比較

※ドロウダウンとは、集計期間内（グラフ始点から当該時点）において最高値をつけたところからの下落率のことをいいます。



<当資料で使用した指数について>

世界国債指数：FTSE世界国債インデックス（除く日本）（円ヘッジ・円ベース）

<当資料で使用した指数の著作権等について>

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

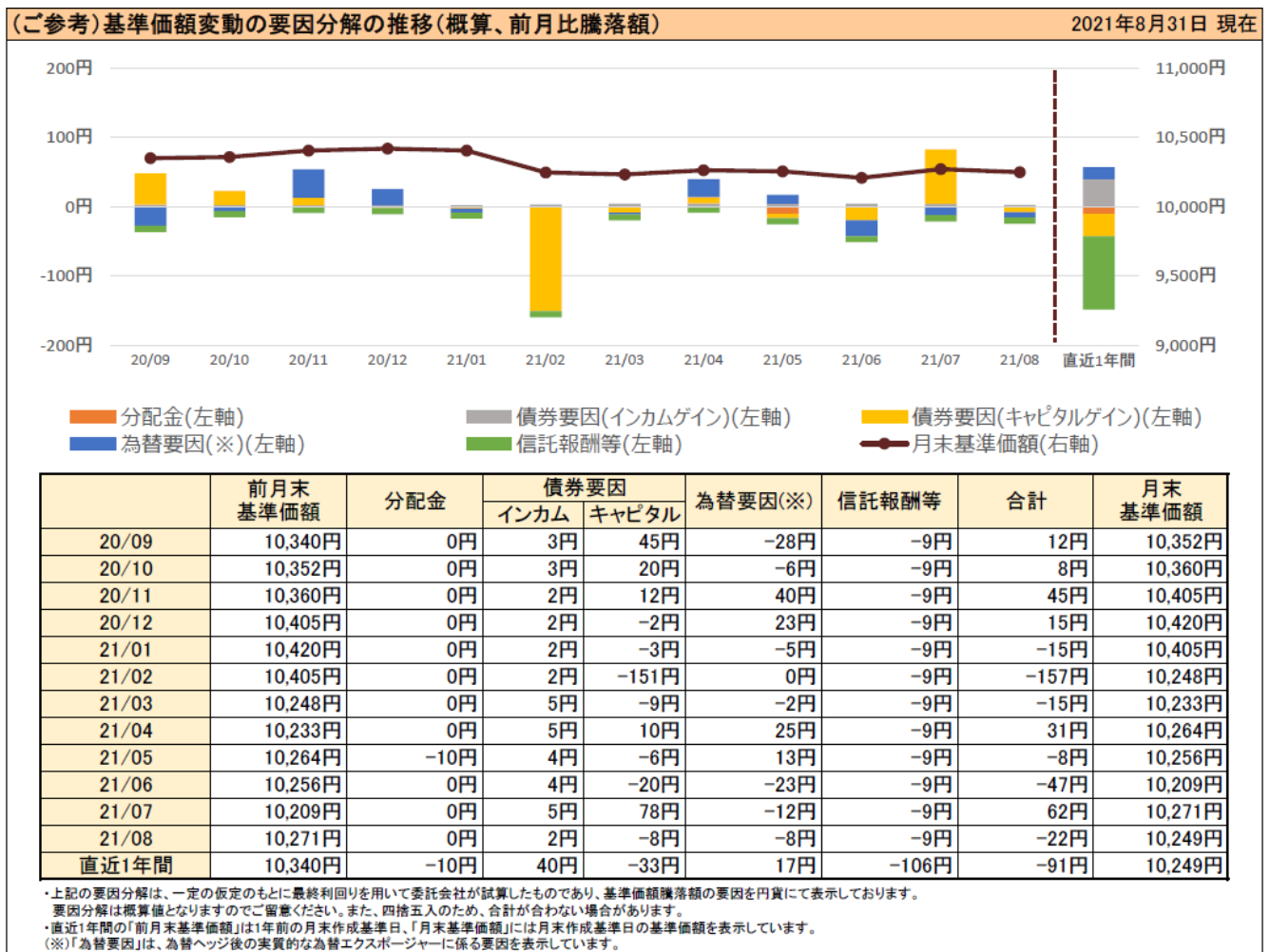
8月末基準のマンスリーレポートより リニューアルしたポイントを解説！

ファンドのパフォーマンス要因分解を新たに掲載

前ページで申し上げた通り、当ファンドは『利回り』だけでなく、複数の収益の源泉を活用することにより、安定的なリターンの獲得を目指しております。

具体的には、『利回り』に加え、『金利リスクの調整』や『為替変動』などを活用しています。

当ファンドの特徴をよりよくご理解いただけるよう、当ファンドのパフォーマンスの要因分解を、マンスリーレポートの2ページ目に新たに掲載しました。



上記は、2021年8月末基準のマンスリーレポートより抜粋したものです。

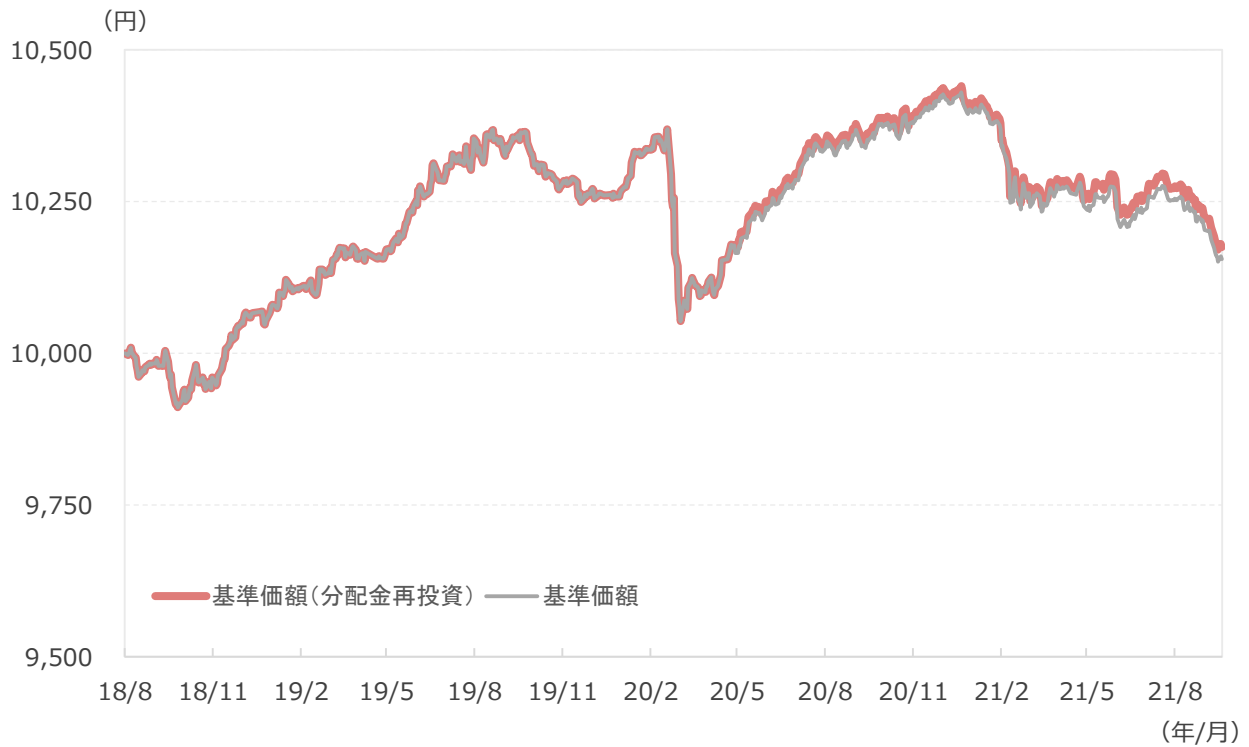
上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「野村ワールドボンド・ファンド」

ファンドの運用状況

ファンドの基準価額の推移

期間：2018年8月17日（設定日）～2021年10月5日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「分配金に関する留意点」

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

「野村ワールドボンド・ファンド」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 世界各国の公社債を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 投資する公社債は、投資時点においてBBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有する公社債とし、日本を含む先進国の国債等(国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債)を中心に投資します。
- 市場環境、利回り水準、為替ヘッジコスト等を勘案して国別配分、通貨配分、デュレーションの水準を決定し、ポートフォリオを構築します。なお、ポートフォリオのデュレーションは、原則として0～8年の範囲内で調整します。
- 効率的な運用を行なうため、債券先物取引等のデリバティブ取引を利用する場合があります。
- 実質組入外貨建資産については、円建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ(他通貨による代替ヘッジを含みます。)を行なった資産の額との合計額(実質的な円建資産の額)を、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。
- ファンドは「グローバル債券マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年5月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年5月15日まで(2018年8月17日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、5月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング スイッチングのお取り扱いのある販売会社では、「ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド」の換金代金をもって当ファンドへのスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、ご購入、ご換金の場合と同様です。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨークの銀行」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年10月現在)

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.023%(税抜年0.93%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村ワールドボンド・ファンド

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。